

みんなで行ってみよう！
地域のイベント

「たねまめマルシェ」

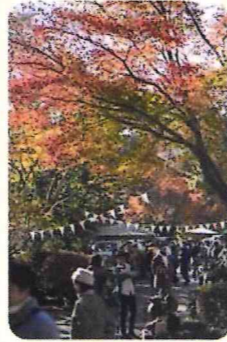
11月23日(土) 午前10時～午後3時 正覚寺にて開催

阿津地区にある古民家カフェ「たねまめ」を訪問し、お話を伺いました。

オーナーの首藤ご夫妻が「自然に囲まれた所でカフェを運営したい」との願いから阿津にある古家を探して市街から移住し、2014年10月にオープンさせました。現在カフェは不定期営業ですが、地域の活性化につながればという思いからスタートした「たねまめマルシェ」を年2回春と秋に開催しています。今回は11月23日(土)、紅葉の綺麗な正覚寺(たねまめから徒歩7分)にて開催予定です。ここでは、しめ縄飾りやお香の作成などのワークショップ、近隣の作家さんのクラフトやフードの販売、ライブ演奏などが行われます。 中河 学



首藤 幸一郎さん、宜美さん



マルシェの様子



古民家カフェ「たねまめ」

情報はここから↓



タネノバ



たねまめマルシェ

～発達や暮らしに悩む親子のために～ **「タネノバ」**

NPO 法人タネノバは、「子育ての孤立をなくしたい」という理念のもと、2021年から活動を始めました。子育てを取り巻く社会が様々な人にとって居心地がよくなるように、相模湖地域の自然などの資源を生かしてフリースクールや親子ワークショップなどの活動をしてきました。

2024年からは活動の幅を広げ、「縋りの里山(よりのさとやま)」というグループで、相模湖リフレッシュセンターなどを拠点に子育てや介護などテーマにした対話の会やワークショップを定期的で開催しています。詳細はタネノバのinstagramや相模湖リフレッシュセンターのHPをご覧ください。

首藤 幸一郎



- 「自治会」は
- 防災訓練の実施
 - 防災物資の備蓄
 - 防犯灯の設置
 - 登下校児童の見守り
 - 地域のふれあい活動など、皆さんにとって、より良い地域となるよう、様々な活動をしています。

【お問合せ】
相模湖地区
自治会連合会 事務局
(相模湖まちづくりセンター内)
電話:042-684-3213

- 【編集委員】
- ・中河 学
 - ・小島 和男
 - ・清水 創
 - ・吉良 奈美乃
 - ・岸 実
 - ・榎本 直紀
 - ・渡辺 良恵

「おばらまるしえ」 12月1日(日) 午前10時～午後3時 小原の郷にて開催

令和6年度より相模原市で使用することが可能になった小原の郷。その活用方法を考える小原宿拠点活用検討会が小原宿活性化推進会議より発足しました。

小原宿の事をもっと広めたい、地域の人、来訪者、参加者がつながり合う交流の場を持ちたいという思いから、昨年度より小原の郷の屋外空間を利用し、「おばらまるしえ」をはじめました。季節に一回というペースですが、飲食や体験などのブースが20店程集まり、回を重ねるごとに来場者も増えています。

4回目となる今回は12月1日(日)です。ぜひ遊びに来てください。 吉良 奈美乃



小原の郷



まるしえの様子



さがみ湖地区社協だより

第84号 令和6年9月発行

【発行】相模湖地区社会福祉協議会 〒252-5162 相模原市緑区与瀬896番地 相模湖総合事務所3階
(市社協相模湖地域事務所内) 電話 042-649-0202 FAX. 042-649-0200
メール sagamikotiku@sagamiharashishakyo.or.jp ホームページ www.sagamiharashishakyo.or.jp

相模湖地区社協

検索

11月は社協のイベントに行こう!

相模湖ふるさとまつり会場で開催します!

福祉バザー



日時: **11月10日(日)** 午前10時～午後2時
場所: 県立相模湖交流センター 相模湖ふるさとまつり会場

掘出し物が見
つかれるかも!

- 販売品一例(すべて未使用品)
- 食器、花瓶、陶器類
 - 衣類、布製品、雑貨
 - 手作り品

**ふくし絵手紙コンクール
作品展示・投票**

全応募作品を展示します

同時開催!

みんな わくわく! 一緒に どきどき! Let's チャレンジ

福祉のつどい

日時: **11月30日(土)**
午前10時30分～午後3時
場所: 県立相模湖交流センター

- ふくし絵手紙コンクール受賞者表彰
- 体験コーナー ● 展示コーナー
- 模擬店 ● おもちゃの病院
- お楽しみ抽選会
- スタンプラリー等

景品多数!

今年は秋に開催します!

バザー品の提供にご協力をお願いします♪

ご家庭に未使用品（新品）がありましたら、ご寄付をお願いします。
売上金は、地域福祉のための活動の一部に活用させていただきます。

品物受付期間 ※未使用品(新品)に限ります

11月1日(金)～11月7日(木)

今年は手作りの品物
(手芸品・工芸品)も
募集しています

品物は、お手数でも各地区の民生委員宅までお届けください。

☆家具、電化製品など一人で持ち運びが出来ない品物、食物や飲料については、ご遠慮願います。

☆電化製品は、**使用可能のご確認**をお願いします。

※売れ残った品を地区内の関係団体にお譲りしますので、ご希望の場合は10月31日(木)までにご連絡ください。

ふくし 絵手紙 コンクール

たくさんのご応募ありがとうございました。応募総数 **231** 作品

相模湖ふるさとまつり会場にて展示と投票をおこないます。

今年度のテーマは、『あのね・・・』（つたえたいこと）。誰かにこれはぜひ伝えたいと思うことを絵とメッセージでハガキに描いて応募していただきました。

応募いただいた全作品は、下記の日程で、相模湖交流センターにて展示、投票をおこないます。

あなたの一票により入賞作品が決まります！ぜひ、投票に来てください。投票された方には地区社協 PR グッズをさしあげます。審査の結果、優秀作品は、相模湖地区社協「福祉のつどい」にて表彰されます。

投票日時：11月10日(日)
午前10時～午後3時
投票場所：相模湖交流センター



展示・投票の様子

ボランティアさん
お手製

地区社協の PR グッズのご紹介

地区社協活動の啓発を目的に、イベント等で参加者に手作りのティッシュケースを配付しています。今年度は地区社協総会、「ふれあい・いきいきサロン交流会」にて配付しました。今後も「ふくし絵手紙コンクールの投票」等、地区社協のイベント、会議等で配付する予定です。

ティッシュケースは地域の縫い物ボランティアの方々に作っていただいています。作ってくださるボランティアを随時、募集しています。ご興味のある方は、ぜひ地区社協事務局（042-649-0202）までご連絡ください



布を折って、4カ所を直線縫いするだけ。手縫いでもOK。

「内郷ぼうさいまちあるき」をおこないました

防災まちあるきは「地域の方々に防災に関する意識・知識を高めてもらおう」との目的で始めました。4月25日(木)に関係者による下見をした結果、東日本台風(台風19号)による甚大な土砂災害のあった相模湖病院から石老山中腹の顕鏡寺までをまちあるきの対象としました。

7月20日(土)、リフレッシュセンターに事務局を交えて16人が集合し、概要の説明を受けました。道々、土砂災害を実際に見分した参加者から写真を交えて詳しい説明がありました。相模湖病院から顕鏡寺までの舗装道路(坂道)は災害の爪痕は殆ど残っていませんが、当時の写真では舗装が大規模に無残に剥がれ、道路が川になっていました。顕鏡寺の裏山は急斜面で今も土砂災害の跡が見られ大きな岩が転がっており、自然の力の前には人間は無力であることをつくづく感じました。その後、白蓮の墓にお参りしてリフレッシュセンターまで戻りました。

反省会では、相模湖地区は自然災害の中では土砂災害の危険が最も高く、ハザードマップなどを参考にして、日頃から危険区域を把握し、意識を高めることが必要などの意見が出ました。

中河 学



災害時の顕鏡寺門前
大きな岩が流されてきた



相模湖病院から顕鏡寺まで
女坂を歩く

ふれあい・いきいきサロン交流会を開催しました

7月19日(金)にサロン代表者、地区社協関係者を対象とした交流会を開催しました(参加者38名)。地域のつながりを作る交流の場をひとつでも増やすことを目的に、今年度から百歳体操と健康マージャンサロンを介護予防ふれあいサロンとし、交流会にも参加していただきました。サロンで活用できる情報提供や、工作体験の他、各サロンの現状などの情報交換を行い、たいへん有意義な交流会となりました。



工作体験(毛糸で作るモップ)
の様子

備えて安心!

とっさの時の あんしんケース

「とっさの時のあんしんケース」は緊急の場合に備えて、ご自身の医療情報等をに入れて保管するためのケースです。

急病や災害時に備えるため、民生委員さん等をとおして配付します。問合せは担当の民生委員さんまたは地区社協事務局(042-649-0202)まで!

緊急時に、救急隊が発見しやすいよう**冷蔵庫**に保管し、緊急連絡先や医療機関の情報等を入れて、急病や災害時に備えましょう。

◇すでにお持ちの方◇

緊急連絡票の内容が古くありませんか?いつも**最新情報**にしておきましょう!



冷蔵庫の横につるしてもOK!



これが目印です↓

